

— はじめに —

守谷市は、平成14年の市制施行に合わせ、新たな「守谷市総合計画」を策定し、市の将来像である「夢と希望にあふれるまち・もりや」の実現を目標に、市民の参加と協働を基本とする「市民が主人公のまちづくり」を推進してまいりました。



この間、つくばエクスプレスの開業や守谷駅周辺地区一体型土地区画整理事業の完工、大型商業施設の進出など、順調な都市基盤整備が図られ、平成20年には、民間情報誌の全国都市における住みよさランキングにおいて、総合第1位に選ばれるなど着実に発展してまいりました。

しかしながら、自治体を取り巻く社会環境は、少子高齢化や地球温暖化などの課題に加え、長引く景気低迷、さらには、平成23年3月11日の東日本大震災に伴う、復旧・復興への対応など、今後とも厳しい状況が予想されるところです。特に本市においては、福島第一原子力発電所事故に伴う、放射性物質による環境汚染も発生していることから、より一層の安全・安心に向けた取組みが重要となっております。

このような状況の中、守谷市は、更なる発展と安定したまちづくりを目指し、今後10年間にわたる指針を定めた「第二次守谷市総合計画」を策定いたしました。

今後は、この計画をもとに、本市の新たな将来像である「緑きらめき 人が輝く 絆つなぐまち もりや」の実現に向けたまちづくりを進めてまいります。

具体的には、本市の原風景である豊かな緑の保存、市民が主人公を基本とした協働による市政運営、支え合いの絆が育まれる地域づくりを目標に、誰もが「住んでよかった」と心から思えるまちづくりを進め、再度、住みよさ日本一のまちを目指してまいります。

結びに、本計画策定に際しましては、多くの市民の皆さまから貴重なご意見やご提言をいただいたことに厚く御礼申し上げますとともに、本計画の推進に当たりましては、皆さまのご理解とご協力、そして、積極的なご参加をお願い申し上げます。

平成24年(2012年)3月

守谷市長 会田 真一